

子ども版防衛白書は、全国約 2400 の小学校に約 6100 冊が送付

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

E メール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2025年8月14日(木)

NO. 1604号

本号3頁

被爆80年・原水爆禁止世界大会 開幕

核兵器廃絶へ道拓こう ナガサキデー集会 禁止条約参加求める

長崎市は9日、米国の原爆投下による惨禍から80年の節目となる「原爆の日」を迎え、「長崎を最後の被爆地に」との思いに包まれました。被爆80年・原水爆禁止2025年世界大会は同市内でナガサキデー集会を開き閉幕。「激動の時代における『希望の光』となっている核兵器禁止条約を力に、『核兵器のない平和で公正な世界』への道を切り拓（ひら）こう」と訴える「長崎からのよびかけ」を採択しました。市主催の平和式典で「長崎平和宣言」を行った鈴木史朗市長は、すべての国の指導者に対し「長崎を最後の被爆地とするためには、核兵器廃絶を実現する具体的な道筋を示すことが不可欠」だと強調。日本政府が一日も早く核兵器禁止条約へ署名・批准するよう求めました。

長崎市民会館体育館で開かれたナガサキデー集会は3200人の参加者で2階席や第2会場の文化ホールまで埋まり、「核兵器の完全廃絶に向けて今こそ行動に立ち上がろう」と誓い合いました。

鈴木史朗長崎市長と日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）の田中重光代表委員がビデオであいさつ。田中氏は4歳の時の被爆体験を語り「地球上の市民の一人ひとりが自分自身のこととして考え、核兵器も戦争もない世界に向けてともにがんばりましょう」と訴えました。

長崎に原爆が投下された午前11時2分に全員で黙とうしました。

エジプトのモハメド・エゼルディン・アブデルモネイム元外務次官は、パレスチナ・ガザの犠牲者に黙とうし「人類生存の危機が増大している」と指摘。「団結し、もっと強く活動しよう」と呼びかけました。メルバ・ブリーア駐日メキシコ大使は「核保有国に責任を果たすよう求めるうえで、市民社会が力強く支えていることに深い信頼を寄せている」と話し、核兵器禁止条約を推進していくと表明しました。ベルギー労働党のマルク・ボテンガ欧州議会議員は「不安定な世界において、欧州が今ほど核軍縮と協力を推進すべきときはない」と強調。「私たちは、平和と人間の安全保障の代弁者となろう」と語りました。

英国・核軍縮運動（CND）のキャロライン・ルーカス副会長（元緑の党党首）は、英国が「核抑止」に基づき核の拡散を積極的に推進していると批判。「だからこそ禁止条約が重要だ。今こそ圧力を強めるときだ」と話しました。

フランス、米国、韓国、マーシャル諸島の代表が発言。日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める運動を、高校生や九州・沖縄の代表が交流しました。

今原水爆禁止世界大会に、政府の代表や反核運動の代表等、15カ国、200人以上が参加

原水爆禁止世界大会には、核兵器禁止条約を推進する諸国政府の代表や反核運動の代表など、15カ国、200人以上が海外から参加しました。

ロシアのウクライナ侵略、アメリカと同盟国の大軍拡、イスラエルのパレスチナ・ガザでのジェノサイド（集団殺害）など、世界が戦争か平和かの重大な岐路に立たされています。核保有国や一部の国が核兵器への依存を深めていることが、世界が核兵器使用の危機に直面する深刻な事態をひき起こしています。大会は、重大な情勢にたちむかう決意とともに、それを打開する希望と勇気にみちたものとなりました。

来年には、米ロ英仏中の核五大国も参加する核不拡散条約（NPT）再検討会議が開かれます。核軍縮の交渉が停滞、後退するもとの、国際会議宣言は、NPT再検討会議に際して、国際共同行



動をよびかけました。世界の反核平和運動を結集し、諸国政府との共同を発展させて、逆流をのりこえ、前進する機会となることが期待されます。

ネタニヤフ氏、ガザ市制圧計画を擁護 国連安保理で各国は批判

イスラエルのネタニヤフ首相は10日、ガザ市の「掌握」計画について、戦争を終わらせる「最善」の方法だと主張しました。国連安全保障理事会では同日、各国大使がイスラエルの計画を厳しく批判しました。

ネタニヤフ首相は「虚偽を打ち破る」ことを目的に外国メディア向けの記者会見を開き、予定している攻勢は「比較的速やかに」実施され、「ガザを（イスラム組織）ハマスから解放する」ことになる」と述べました。首相はさらに、ハマスがガザで拘束しているイスラエル人の人質について、「意図的に飢えさせられているのは彼らだけだ」と述べ、イスラエルがガザ住民を飢えさせているとの批判を否定しました。

記者会見でネタニヤフ氏は、イスラエル国防軍（IDF）に対し、ガザ市とガザ地区中部アル・マワシ周辺に残る「ハマスの拠点2カ所」を解体するよう指示したと述べました。

また、ガザ地区内での支援拡大に向けた3段階の計画を説明。これには、安全な人道支援ルート の指定、イスラエル軍と協力団体による空中投下の増加、そしてアメリカとイスラエルが支援する「ガザ人道財団（GHF）」管理下の、援助物資配給拠点の増設を含むとしました。

国連は今月初め、GHFが支援拠点を設置した5月下旬以降、食料を求めて死亡したパレスチナ人が1373人に上ると報告しています。ネタニヤフ氏は、ハマスが「物資輸送トラックを暴力的に略奪した」と主張。GHF拠点で死亡したパレスチナ人について質問されると、「多くの発砲はハマスによるものだ」と述べました。

ネタニヤフ氏は、ガザに残るイスラエル人の人質については、「何もしなければ、彼らを救出することはできない」と述べました。首相はさらに、外国の報道機関がハマスのプロパガンダに乗せられていると批判。さらに、各国メディアが新聞一面に掲載するなど大きく報じました、栄養不良状態にあるガザの子供たちの一部の写真を「偽物」と断じました。

イスラエルは戦争開始以来、外国のジャーナリストのガザ入りを認めていません。これについてネタニヤフ氏は、外国人記者を受け入れるよう2日前にイスラエル軍に指示したのだと話しました。

安保理ではアメリカがイスラエル擁護

国連安保理は同日、緊急会合を開き、イギリス、フランスなどがイスラエルの計画について、「国際人道法に違反する」恐れがあると警告。デンマーク、ギリシャ、スロヴェニアも同様の見解を示しました。各国はイスラエルに、ガザ市制圧は「人質の返還にはつながらず、むしろ今まで以上に命を危険にさらす」と指摘しました。

他の安保理理事国も、同様の懸念をイスラエルに示しました。中国はガザ住民への「集団的懲罰」は容認できないと述べ、ロシアは「無謀な戦闘激化」に警鐘を鳴らしました。

国連のミロスラフ・イェンチャ事務次長は、「この計画が実行されれば、ガザでおそらく新しい大惨事が起き、地域全体に響き渡り、いっそうの強制移住、殺害、破壊を引き起こす可能性が高い」と警告しました。

国連人道問題調整事務所のラメシュ・ラジャシングム調整局長は、ガザの飢餓危機について、もはや差し迫ったという段階を過ぎ、「これは純然たる飢餓だ」と述べました。

他方、アメリカはイスラエルを擁護し、ドロシー・シェイ国連大使はアメリカ政府が人質解放と戦争終結に向けて「疲れ知らずに」取り組んでいると主張。安保理会合は、そうした努力を損なっていると批判しました。シェイ大使はさらに「ハマスが人質を解放すれば、（戦争は）今日にも終わる」とし、他の理事国が緊急会合を利用して「イスラエルがジェノサイド（集団虐殺）を行っている」と非難しているものの、ジェノサイドについての各国のそのような主張は「明確に虚偽だ」と強調しました。

参政党を斬る 7 「してねえつつってんだろ！」 神谷代表

街頭演説中の“人種差別”批判に大声で激怒

8月9日、長崎で開催された被爆80年の平和祈念式典に出席した参政党の神谷宗幣代表（47）。その数時間後には、福岡市内の警固公園前で街頭演説を行いました。雨が降りしきる中、街宣カーに上がった神谷氏は、冒頭、「おかしくないですか？今日は静かに亡くなった人たちの冥福を祈り、平和を祈る日だとおもうんですけど、そういうことが全くできない人たちが式典の周りで騒いだり、参政党の街頭演説を妨害しに来るんです。どうも彼らは平和が嫌いなようです」と発言。

今回の選挙では、外国人問題が争点に浮上する中、『日本人ファースト』を掲げ、大きく議席を伸ばした参政党ですが、選挙期間中は外国人をめぐって、候補者の事実に基づかない言説も一部で飛び出し、“外国人排斥を煽る”という指摘が付いて回りました。そのため、演説のたびに、『差別反対』といったプラカードを掲げて対抗する人たちが多く見られました。また、東京選挙区で当選した新人・さや参院議員（本名・塩入清香）が、7月に出演したある番組で、個人の見解として『核武装が最も安上がりで最も安全を強化する策の1つ』などと主張したこともあってか、8月6、9日の広島、長崎でもカウンター活動が行われていたようです。

今回の演説中も、街宣カーの周囲では、「戦争反対！」「人種差別反対！」といった抗議の声があちこちから起こる中、神谷氏は、「我々は何度も言っていますが、人を差別したり、レイシズム（人種主義）を推奨したり、戦争を進めたり、一切そういうことはしないとずっと言い続けています」と主張。すると、「選択的夫婦別姓反対」「スパイ防止法案の提出」「正しい歴史教育」など党が推進する事案を挙げ、こう持論を展開しました。

「そういうことやってもらっては困るという人たちが、この人たちなんですね。彼らは私たちが外国人を差別しているからと言っているけども、そうではない」と発言しました。

国会議員総出で靖国神社を参拝したい

続けて、神谷氏は「18人の国会議員総出で靖国神社を参拝したいと思っています！」と高らかに宣言。そして、自分の歴史観を語り、「第一次世界大戦が終わった後に、日本人は国際会議、国際連盟の一員に入って、常任理事国となってある提案をしました。そのことに私たちは誇りを持つべきですね。日本人が一番最初に、1919年だったと思います、言ったことは、『人種差別をやめよう』です！人種差別をやめようと、世界で一番最初に言ったのは日本人ですよ！」

神谷氏がこのよう力を込めたことで、支持者からは「そうだー！」と万雷の拍手が起こっていたが、一部からは“人種差別をやめろ”という趣旨のカウンターが飛んだ。すると、神谷氏は振り向き、大声でこう発した。「してねえつつってんだろ！！」

そして、「我々は外国人差別反対です！戦争反対です！皆さんは参政党を応援しないといけないんです！矛盾してるんです言ってることが！差別をやめよう！そのとおり！戦争をやめよう！そのとおり！参政党と一緒にんだから、もっと応援してください！」と。

福岡市長 神谷代表の市の「金融・資産運用特区」は「事実と違う」と抗議!! 宮城と同じ??

参政党の神谷代表は7月12日、福岡市の警固公園で行った演説の中で、市の「金融・資産運用特区」について触れ、「誰も挑戦しなくなった。そして『挑戦する外国人を呼んで来よう』ですよ、この福岡もね、そういう特区になってるんですよ。外国の金融や外国企業を呼んで来て、外国人の力でね日本の経済をもっとね、良くしてもらいましょうみたいなそんな他力本願の政策は駄目だ」などと発言していた。

これについて高島市長は5日の記者会見で、「たまたまユーチューブで見たので、神谷代表に直接電話をして『事実と違う』と伝えた」と明らかにしました。